

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置
飛行訓練装置 認定検査申請書

国土交通大臣

○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、認定検査を受検したいので関係書類を添えて
申請致します。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と し る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
維 持 管 理 責 任 者	
定 置 場	(住 所)
認 定 を 受 け よ う と し る 用 途	(記載例) 模擬飛行装置等認定要領(平成14年3月28日付国空航 第1285号 国空機第1308号 国空乗第91号(平成○○ 年○○月○○日付までの改正を含む))第5-3-1項に掲 げる用途 (但し、○○及び○○に関わるものを除く。)
指 定 を 受 け よ う と し る 操 作 の 方 式	

実 地 検 査 実 施 希 望 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日～ ○○ 日
実 地 検 査 実 施 希 望 場 所	(住 所)

備 考	
-----	--

認 定 書

国空航第 〇〇〇 号

〇〇〇〇〇〇〇〇

(所有者名)

〇〇年〇〇月〇〇日付けで申請のあった模擬飛行装置
飛行訓練装置については、
「模擬飛行装置等認定要領」(平成14年3月28日付、国空航第1285号、国空機第1308号
及び国空乗第91号)及び「模擬飛行装置等認定要領細則」(平成14年4月23日付、
国空航第1417号、国空機第1462号及び国空乗第2098号)の規定に基づき、下記のとおり
る。

記

1. 模擬飛行装置 飛行訓練装置

(1) 装置の型式 〇〇〇式〇〇〇型

(2) 製造番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

※装置の詳細については別添の模擬飛行装置等認定仕様書に示す

2. 認定の条件

- (1) 用途に使用する場合の操作の方法は、認定検査申請書添付「操作の方式」によること。
- (2) 模擬飛行装置等認定要領及び模擬飛行装置等認定要領細則の規定に基づき定期検査の申請を行うこと。
- (3) 模擬飛行装置等認定要領及び模擬飛行装置等認定要領細則の規定に基づき品質監査を受けること。
- (4) 模擬飛行装置等認定要領及び模擬飛行装置等認定要領細則の規定に基づき必要の都度臨時検査の申請を行うこと。
- (5) 模擬飛行装置等を用途に一時的に使用せず、模擬飛行装置等認定要領及び模擬飛行装置等認定要領細則に基づく維持管理を行わない場合には、休止届を提出すること。
- (6) 本暫定認定の有効期間は発行日から2年間とする。(※暫定認定の場合)

年 月 日

国土交通大臣 〇 〇 〇 〇

国土交通省

(付録 F 書類書式：認定仕様書（認定要領第 5 章 5-1））

模 擬 飛 行 装 置 等 認 定 仕 様 書 (飛 行 機)

模擬飛行装置等の略称：

1. 認定維持に係わる事項

(1) 決裁番号 *	(2) 認定年月日 *
(3) 種類	(4) 区分
(5) 初回認定年月日	(6) 初回認定時に適用した認定要領の日付
(7) 初回認定時に適用した認定要領細則の日付	(8) 所有者名
(9) 維持管理責任者	(10) 定置場
(11) 定期検査間隔 *	
☐ 3 年度 ☐ 1 年度 ☐ その他航空局が定める間隔	
(12) 用途	
(13) 備考 *	

2. 模擬対象とする飛行機（□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。）

(1) 模擬対象とする飛行機の型式	(5) 模擬対象とする発動機型式名
派生型の飛行機を模擬する場合には、以下に記載する。 例：767-300 に加えて 767-300ER を加える場合 (2) 追加派生型飛行機型式	別型式の発動機も模擬する場合には、以下に記載する。 (6) 追加発動機型式
区分レベル2又は3の飛行訓練装置であっても特定の型式を模倣したものは、以下に模倣対象とした型式を記載する。 (3) 模倣対象の飛行機の型式	一般的な発動機型式（ジェネリック）を模している場合には以下(7)項、(8)項を記載する。 (7) 発動機の数： (8) 発動機の種類 ☐ レシプロ ☐ ターボ・プロップ ☐ ターボ・ファン ☐ ターボ・シャフト ☐ その他（ ）
(4) 特定の型式を模擬しない ☐ ジェネリックな飛行機	

3. 模擬飛行装置等の製造者、製造年、製造番号、型式名称

(1) 模擬飛行装置等の製造者名	(2) 製造者の所在地
(3) 製造年月(日)	(4) 製造番号
(5) 型 式 名 称	
型式名称は以下の例を参考に記載すること。	
(製造者名) 式 (模擬対象飛行機名称) 型	記載例：フラスカ式G58型

4. 模擬飛行装置等のハードウェア構成 (□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。)

ハードウェア構成の形態管理を適正に行うこと。

(1) ビジュアル装置 ☐有 ☐無 有の場合には右欄も記載のこと。	製造者名	画像生成装置 (IG)型式名称 (例- Tropos6000 など)
	チャンネル数	最も広い連続した視野の広さ： 水平方向 (度) 垂直方向 (度) ディスプレイ同士が隣接している場合は合計の縦横視野角を記載のこと。隔離されている場合(左右席横の視野が別々のディスプレイの場合等)は、その縦横視野角を記載。 (左横席： 右横席：)
	投影システム ☐無限遠焦点システム ☐非無限遠焦点システム ☐その他 ()	プロジェクター ☐CRT ☐ライト・バルブ ☐レーザー ☐その他 ()
(2) モーション装置 ☐有 ☐無 有の場合には右欄も記載のこと。	製造者名	型式名称 (例- EMM2000 など)
	自由度 ☐6軸 ☐3軸 その他の次元軸が追加される場合以下に記載。()	駆動方式 ☐油圧 ☐電気 ☐ニューマチック ☐ハイブリッド ☐その他 ()
(3) サウンド装置 (飛行訓練装置のみ該当する) ☐有 ☐無		
(4) 操縦室の構造 (以下の①から③の事項は飛行訓練装置についてのみ記載する)		
①操縦室構造 (模擬エリア内)	☐ クローズド構造 ☐ 開放構造	
②計器パネル類	☐ 全て実機部品又は3次元的 (3D)に複製した模造部品 ☐ 一部又は全てフラット・パネルに2次元的(2D)に描画	
③主要な操縦装置類 ☐有 ☐無 有の場合には右欄も記載のこと。 操縦力を作り出す必要のあるもののみでよい。	対象模擬装備品 (複数選択可) ☐ピッチ・コントローラー ☐ロール・コントローラー ☐ヨー・コントローラー ☐ステアリング 追加装備があれば右に記載 () 模擬方式 ☐実機の操縦装置を装備 ☐コントロール・ローディング・システム ☐バネ反発力等を用いた機構 ☐その他の方式による模擬 ()	

５．模擬飛行装置等のソフトウェア構成（□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。）

ソフトウェア構成の形態管理を適正に行うこと。

(1) 以下のモデルのインテグレーションを確認する VDR のドキュメントの有無： □無 □有 （有の場合）VDR 提供者： VDR のドキュメント番号、リビジョン番号：		
(2) 模擬モデル提供者が、ブロック・ポイント(BP)やスタンダード(STD)番号等で、一元的に模擬モデルを管理している場合には、その形態管理の表記を用いてこの欄に記載すること。（例 Std 1.4、BP 14.3 等） モデル提供者： BP、STD 等の表記で模擬モデル管理を識別する名称と識別番号：		
一元的に模擬モデルを管理する名称と識別番号をもたない場合には、以下①から⑤に記載する。		
①-1 空気力学モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の飛行機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型飛行機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
①-2 空気力学モデル 細則付録 A 第 4 章への適合 □有 □無	要件に適合する事項 □フル・ストール □UPRT □発動機及び機体への着氷 □ガストを伴う横風下での着陸及び離陸 □バウンス着陸からの回復	モデル提供者
② グランド・ハンドリング・モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の飛行機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型飛行機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
③ 発動機モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の発動機型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(6)項で追加発動機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
④ 操縦システムモデル （フライト・コントロール） □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の飛行機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型飛行機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
⑤ 統合型アビオニクス・システム □有 □無 適用がある場合のみ記載。	型式名称： （例- 777 であれば‘AIMS’、G58 であれば‘Garmin’ などと記載。） バージョン番号（該当する場合）： （例- ‘AIMS BP2017A’、‘Garmin G2000’ などと記載）	実機システム提供者
※ 汎用モデルを基に、経験豊富な操縦士により調整を行ったモデルは、特定の型式を模擬するモデル、あるいは型式、シリーズを代表するモデルとみなせる場合がある。モデルの妥当性については、受け入れ可能な適合性説明が必要となる。		

6. 飛行機システムの模擬範囲

飛行機システムの模擬範囲 申請者が認定検査ガイドに検査方法を設定し、模擬されている機能が確認できる飛行機システムのみ記載のこと。 また故障状態（マルファンクション）を模擬する場合には認定検査ガイドの機能検査プロフィールに適宜設定すること。 申請者が申請する模擬範囲について、該当する「申□」に■マークをすること。 検査の結果、その模擬機能が確認された場合には「認□」に■マークが入り、認定された事を示す。 模擬されていても、申請の無いものについては認定の対象としない。					
申□・空調及び与圧 認□	申□・防氷/除氷 認□	申□・補助動力装置（APU） 認□			
申□・電気 認□	申□・通信-空地間音声通信 認□（ATC 模擬含む）	申□・ACARS 認□			
申□・CPDLC 認□	申□・インターフォン 認□	申□・火災と煙探知及び消火 認□			
申□・操縦系統（プライマリー及びセカン ダリー） 認□	申□・燃料及び潤滑油 認□	申□・油圧 認□			
申□・高圧空気（ニューマチック） 認□	申□・着陸装置 認□	申□・酸素 認□			
申□・発動機 認□	申□・航空機用レーダー 認□	申□・オートパイロット及び フライト・ディレクター 認□			
申□・地上接近警報装置 GPWS 認□	申□・地上接近警報装置 EGPWS 認□	申□・衝突防止装置 認□ TCAS バージョン番号 （Ver. ）			
申□・その他の地上接近警報装置 認□ 及び 衝突防止装置 （ ）	申□・フライト・コントロール・コンピューター 認□（スタビリティ及びコントロール・ オーギュメンテーションを含む）	申□・フライト・ディスプレイ・システム 認□			
申□・ヘッドアップ・ディスプレイ 認□（装備する座席： ）	申□・EFVS 認□	申□・フライト・マネージメント・コンピューター 認□			
申□・航法装置 認□	申□・失速警報又は失速防止装置 認□	申□・ウインドシア回避/ リカバリー・ガイダンス装置 認□			
申□・フライト・エンベロープ・プロテクション 認□	申□・電子フライト・バッグ 認□ ☐ Class II ☐ Class III	申□・自動チェックリスト（通常、異常 及び 認□ 非常操作手順）			
申□・滑走路についての警報 認□ 及び アドバイザリー装置					
飛行機製造者が提供するオプション・システムや追加型式承認システムを模擬する場合は、以下にシステム名を記述すること。					
申□・システム名 認□	申□・システム名 認□	申□・システム名 認□			

7. 模擬する操作手順

(1) レベル6以下の飛行訓練装置のみ対象 申請者が認定検査ガイドに検査を設定し、操作手順の実施が確認できる操作のみ記載のこと。 申□ に、申請者が申請する項目に■マークをすること。 検査の結果、その模擬機能が確認された場合には「認□」に■マークが入り、認定された事を示す。 機能を有していても、申請の無いものについては認定の対象としない。	
① 以下の操作を確認するために使用したNav aidsのある空港エリア：	
② 以下の操作を確認するために使用した空港モデル／滑走路 (CAT-IIIの進入、着陸の操作を申請する場合には、対応した実空港/滑走路を指定)：	
③ 以下の操作を確認するためにモーション装置を ☐ 使用する ☐ 使用しない	
申□・飛行前点検 認□	申□・発動機始動 認□ (☐ 通常 ☐ 異常 ☐ 代替)
申□・プッシュ・バック 認□	申□・地上走行 認□
申□・離陸 認□ (☐ 通常 ☐ 計器 ☐ 一つ以上の発動機不作動 ☐ 横風)	申□・離陸中止 認□
申□・上昇 認□ (☐ 通常 ☐ 一つ以上の発動機不作動)	申□・巡航 認□ (☐ 発動機の停止と再始動 ☐ 性能特性)
申□・操縦特性 認□ ☐ 低速飛行 ☐ 高迎角飛行 ☐ 失速への接近 ☐ 旋回 ☐ 特有の飛行特性 ()	
申□・空中操作 認□ ☐ 待機 ☐ その他 ()	
申□・降下 認□ (☐ 通常 ☐ 緊急 ☐ 自動操縦使用)	
申□・進入 認□ (☐ 通常 ☐ 一つ以上の発動機不作動 ☐ 操縦装置の故障状態 ☐ 横風) (☐ CAT-I ☐ CAT-II ☐ CAT-III ☐ RNAV ☐ RNP-AR ☐ 非精密進入 ☐ 周回進入 ☐ 進入復行)	
申□・着陸 認□ (☐ 通常 ☐ 一つ以上の発動機不作動 ☐ 操縦装置の故障状態 ☐ 横風) (☐ CAT-I ☐ CAT-II ☐ CAT-III ☐ 非精密進入からの着陸 ☐ 周回進入からの着陸 ☐ 着陸復行)	
申□・地上操作 認□ (☐ 着陸、着陸後滑走及び飛行終了操作 ☐ 発動機停止 ☐ パーキング操作)	
(2) MPLの用途 申□・ ☐ Coreフェーズ ☐ Basicフェーズ ☐ Intermediateフェーズ ☐ Advancedフェーズ 認□	
(3) 模擬飛行装置のみ 申請者が細則付録A 第4章を適用する場合、認定検査ガイドに必要な適合性の説明と検査方法を設定すること。 申□ に、申請者が申請する項目にマークをすること。認□ は、認定された項目にマークされる。 機能を有していても、申請の無いものについては認定の対象としない。	
申□・フル・ストール 認□	申□・JPRT 認□
申□・発動機及び機体への着氷 認□	申□・ガストを伴う横風下での着陸及び離陸 認□
申□・バウンスド着陸からの回復 認□	

8. 空港環境模擬（□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。）

空港環境模擬
申請者が認定検査ガイドに検査方法を設定し、確認できる模擬のみ記載すること。
ビジュアル・グラウンド・セグメントを確認する空港/滑走路
認定検査ガイドで選択している空港の光景を評価する空港モデル
以下の機能を模擬し、認定検査ガイドに検査手順を設定している場合には、対象空港を指定すること。 ☐ SMGCS 空 港 : ☐ Enhanced Taxi Marking 空 港 :

(付録 F 書類書式：認定仕様書（認定要領第 5 章 5-1））

模 擬 飛 行 装 置 等 認 定 仕 様 書（回転翼航空機）

模擬飛行装置等の略称：

1. 認定維持に係わる事項

(1) 決裁番号 *	(2) 認定年月日 *
(3) 種類	(4) 区分
(5) 初回認定年月日	(6) 初回認定時に適用した認定要領の日付
(7) 初回認定時に適用した認定要領細則の日付	(8) 所有者名
(9) 維持管理責任者	(10) 定置場
(11) 定期検査間隔 *	
☐ 3 年度 ☐ 1 年度 ☐ その他航空局が定める間隔	
(12) 用途	
(13) 備考 *	

2. 模擬対象とする回転翼航空機 (□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。)

(1) 模擬対象とする回転翼航空機の型式	(5) 模擬対象とする発動機型式名
派生型の回転翼航空機を模擬する場合には、以下に記載する。 例： EC135 T2 に加えて EC135 T3 を加える場合	別型式の発動機も模擬する場合には、以下を記載する。
(2) 追加派生型回転翼航空機型式	(6) 追加発動機型式
区分レベル 2 又は 3 の飛行訓練装置であっても特定の型式を模倣したものは、以下に模倣対象とした型式を記載する。	一般的な発動機型式（ジェネリック）を模している場合には以下(7)項、(8)項を記載する。
(3) 模倣対象の回転翼航空機の型式	(7) 発動機の数： (8) 発動機の種類 □レシプロ □ターボ・シャフト □その他（ ）
(4) 特定の型式を模擬しない □ ジェネリックな回転翼航空機	

3. 模擬飛行装置等の製造者、製造年、製造番号、型式名称

(1) 模擬飛行装置等の製造者名	(2) 製造者の所在地
(3) 製造年月(日)	(4) 製造番号
(5) 型 式 名 称	
型式名称は以下の例を参考に記載すること。 (製造者名) 式 (模擬対象回転翼航空機名称) 型	
記載例：フラスカ式EC135型	

4. 模擬飛行装置等のハードウェア構成 (□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。)

ハードウェア構成の形態管理を適正に行うこと。

(1) ビジュアル装置 □有 □無 有の場合には右欄も記載のこと。	製造者名	画像生成装置 (IG)型式名称 (例- Tropos6000 など)
	チャンネル数	最も広い連続した視野の広さ： 水平方向 (度) 垂直方向 (度) ディスプレイ同士が隣接している場合は合計の縦横視野角を記載のこと。隔離されている場合 (左右席横の視野が別々のディスプレイの場合等) は、その縦横視野角を記載。 (左横席： 右横席：)
	投影システム □無限遠焦点システム □非無限遠焦点システム □その他 ()	プロジェクター □CRT □ライト・バルブ □レーザー □その他 ()
(2) モーション装置 □有 □無 有の場合には右欄も記載のこと。	製造者名	型式名称 (例- EMM2000 など)
	自由度 □6軸 □3軸 その他の次元軸が追加される場合以下に記載。 ()	駆動方式 □油圧 □電気 □ニューマチック □ハイブリッド □その他 ()
(3) サウンド装置 (飛行訓練装置のみ該当する) □有 □無		
(4) 操縦室の構造 (以下の①から③の事項は飛行訓練装置についてのみ記載する)		
①操縦室構造 (模擬エリア内)	□クローズド構造 □開放構造	
②計器パネル類	□全て実機部品又は3次元的 (3D)に複製した模造部品 □一部又は全てフラット・パネルに2次元的 (2D)に描画	
③主要な操縦装置類 □有 (□片側席のみ □両席) □無 有の場合には右欄も記載のこと。 操縦力を作り出す必要のあるもののみでよい。	対象模擬装備品 (複数選択可) □ピッチ・コントローラー □ロール・コントローラー □ヨー・コントローラー □ステアリング 追加装備があれば右に記載 () 模擬方式 □実機の操縦装置を装備 □コントロール・ローディング・システム □バネ反発力等を用いた機構 □その他の方式による模擬 ()	

５．模擬飛行装置等のソフトウェア構成（□がある項目は、申請者が申請する項目に■マークをすること。）

ソフトウェア構成の形態管理を適正に行うこと。

(1) 以下のモデルのインテグレーションを確認する VDRのドキュメントの有無： □無 □有 （有の場合）VDR提供者： VDRのドキュメント番号、リビジョン番号：		
(2) 模擬モデル提供者が、ブロック・ポイント(BP)やスタンダード(STD)番号等で、一元的に模擬モデルを管理している場合には、その形態管理の表記を用いてこの欄に記載すること。（例 Std 1.4、BP 14.3 等） モデル提供者： BP、STD等の表記で模擬モデル管理を識別する名称と識別番号：		
一元的に模擬モデルを管理する名称と識別番号をもたない場合には、以下①から⑤に記載する。		
① 空気力学モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の回転翼航空機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型回転翼航空機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
② グランド・ハンドリング・モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の回転翼航空機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型回転翼航空機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
③ 発動機モデル □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の発動機型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(6)項で追加発動機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
④ 操縦システムモデル （フライト・コントロール） □有 □無	模擬モデルの詳細 □特定の回転翼航空機の型式を模擬するモデル □型式、シリーズを代表するモデル □上記以外の汎用モデル（※） 2.(2)項で追加派生型回転翼航空機型式を記載している場合には、上記のいずれかの該当項目を記載：	モデル提供者
⑤ 統合型アビオニクス・システム □有 □無 適用がある場合のみ記載。	型式名称： （例- ‘Garmin’ など） バージョン番号（該当する場合）： （例- ‘Garmin G1000H’ など）	実機システム提供者
※ 汎用モデル等を基に、経験豊富な操縦士により調整を行ったモデルは、特定の型式を模擬するモデル、あるいは型式、シリーズを代表するモデルとみなせる場合がある。モデルの妥当性については、受け入れ可能な適合性説明が必要となる。		

6. 回転翼航空機システムの模擬範囲

回転翼航空機システムの模擬範囲 申請者が認定検査ガイドに検査方法を設定し、模擬されている機能が確認できる回転翼航空機システムのみ記載のこと。 また故障状態（マルファンクション）を模擬する場合には認定検査ガイドの機能検査プロフィールに適宜設定すること。 申請者が申請する模擬範囲について、該当する「申□」に■マークをすること。 検査の結果、その模擬機能が確認された場合には「認□」に■マークが入り、認定された事を示す。 模擬されていても、申請の無いものについては認定の対象としない。					
申□・空調系統 認□	申□・防氷又は除氷系統 認□	申□・補助動力装置（APU） 認□			
申□・電気系統 認□	申□・通信-空地間音声通信 （ATC模擬含む） 認□	申□・インターフォン 認□			
申□・火災検知及び消火系統 認□	申□・安定版（スタビライザー）系統 認□	申□・操縦系統 認□			
申□・燃料及び潤滑油系統 認□	申□・油圧系統 認□	申□・降着装置 認□			
申□・酸素系統 認□	申□・高圧空気（ニューマチック）系 統 認□	申□・発動機装置 認□			
申□・フライト・コントロール・コンピューター 装置 認□	申□・安定性及び操縦性増大装置 認□	申□・航空機用レーダー 認□			
申□・自動着陸支援装置 認□	申□・自動操縦装置（操縦中の姿勢 保持モードを指す） 認□	申□・衝突防止装置 認□			
申□・飛行データ表示装置 認□	申□・フライト・マネージメント・コンピュ ーター装置 認□	申□・ヘッドアップ・ディスプレイ装置 認□			
申□・航法装置 認□					
回転翼航空機製造者が提供するオプション・システムや追加型式承認システムを模擬する場合は、以下にシステム名を記述すること。					
申□・システム名 認□	申□・システム名 認□	申□・システム名 認□			

7. 模擬する操作手順

(1) レベルB以下の模擬飛行装置及びレベル6以下の飛行訓練装置のみ対象 申請者が認定検査ガイドに検査を設定し、操作手順の実施が確認できる操作のみ記載のこと。 申☐ に、申請者が申請する項目に■マークをすること。 検査の結果、その模擬機能が確認された場合には「認☐」に■マークが入り、認定された事を示す。 機能を有していても、申請の無いものについては認定の対象としない。	
① 以下の操作を確認するために使用したNav aidsのある空港エリア：	
② 以下の操作を確認するためにモーション装置を ☐使用する ☐使用しない	
申☐・飛行前点検 認☐	申☐・発動機始動 認☐ (☐通常 ☐異常 ☐代替)
申☐・地上走行 (ホイールタイプのみ) 認☐	申☐・ホバリング 認☐
申☐・地面効果外でのセッティング・ウィズ・パワー 認☐	申☐・エア・タキシング 認☐
申☐・離陸 認☐ (☐通常 ☐計器 ☐発動機故障時 ☐横風 ☐背風)	申☐・離陸中止 認☐
申☐・上昇 認☐ (☐通常 ☐一つ以上の発動機不作動)	申☐・巡航 認☐ (☐加速及び減速 ☐発動機の停止及び始動)
申☐・異常時操作手順または緊急時操作手順 認☐ (☐発動機火災 ☐発動機故障 ☐燃料制御装置系統の故障 ☐方向操縦装置系統の故障 ☐油圧装置系統の故障 ☐安定性増大装置の故障 ☐ローターの振動 ☐オートローテーションからの着陸 ☐ダイナミック・ロールオーバー ☐テールローター駆動系統の故障 (☐推力の損失 ☐操縦系統の固着) ☐その他 ())	
申☐・旋回 認☐ (☐緩旋回 ☐通常旋回 ☐急旋回)	
申☐・計器飛行手順 認☐ ☐ホールディング ☐計器による進入地点への到着	
申☐・降下 認☐ (☐通常 ☐オートローテーション ☐自動操縦使用)	
申☐・進入 認☐ (☐通常 ☐一つ以上の発動機不作動 ☐操縦装置の故障状態 ☐横風 ☐自動操縦使用) (☐精密進入 (進入操作手順を右に記載 (例 ILS)) : , , , , , , ☐非精密進入 (進入操作手順を右に記載 (例 RNAV)) : , , , , , , ☐周回進入 ☐進入復行 ☐回転翼航空機専用進入方式 ☐その他 ())	
申☐・着陸 認☐ (☐通常 (滑走・垂直) ☐一つ以上の発動機不作動 ☐操縦装置の故障状態 ☐横風) (☐ILS ☐非精密進入からの着陸 ☐周回進入からの着陸 ☐着陸復行 ☐目視による進入からの着陸)	
申☐・発動機停止及び停留 認☐ (☐着陸後の手順 ☐発動機及び諸系統の操作 ☐パーキング操作 ☐その他 ())	

8. 空港等環境模擬

空港等環境模擬
申請者が認定検査ガイドに検査方法を設定し、確認できる模擬のみ記載すること。
ビジュアル・グラウンド・セグメントを確認する空港・滑走路/ヘリコプター着陸区域等
認定検査ガイドで選択している空港・滑走路とヘリコプター着陸区域等の光景を評価するビジュアル・モデル（傾斜地からの離着陸の訓練に用いる区域含む）

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置 飛行訓練装置 定期検査申請書

運航安全課長

○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、定期検査を受検したいので関係書類を添えて
申請致します。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	

実 地 検 査 実 施 希 望 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日～ ○○ 日
実 地 検 査 実 施 希 望 場 所	(住 所)

備 考

第 ***-***-*** 号
年 月 日模擬飛行装置
飛行訓練装置 臨時検査申請書

国土交通大臣

〇 〇 〇 〇 殿

(住 所) 〇 〇 〇 〇 〇 〇
(申請者名) 〇 〇 〇 〇 〇 〇

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、臨時検査を受検したいので関係書類を添えて
申請致します。

装 置 の 型 式	〇〇〇式〇〇〇型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル〇 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	〇〇〇式〇〇〇型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	〇〇〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
製 造 番 号	〇〇〇〇
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	

実 地 検 査 実 施 希 望 日	〇〇〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日～ 〇〇 日
実 地 検 査 実 施 希 望 場 所	(住 所)

備 考

(変更に係る概要を記載すること。)

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置
飛行訓練装置 臨時検査申請書

運航安全課長
○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
 飛行訓練装置 について、臨時検査を受検したいので関係書類を添えて
申請致します。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	

実 地 検 査 実 施 希 望 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日～ ○○ 日
実 地 検 査 実 施 希 望 場 所	(住 所)

備 考

(変更に係る概要を記載すること。)

国空航第 〇〇〇 号

合 格 書

〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(所有者名)

〇〇年〇〇月〇〇日付けで申請のあった模擬飛行装置の定期検査に
飛行訓練装置の臨時検査に
ついては、「模擬飛行装置等認定要領」(平成14年3月28日付、国空航第1285号、
国空機第1308号及び国空乗第91号)及び「模擬飛行装置等認定要領細則」
(平成14年4月23日付、国空航第1417号、国空機第1462号及び国空乗第2098号)
の規定に基づく検査の結果、合格としたので通知する。

記

1. 模擬飛行装置の型式 〇〇〇式〇〇〇型
飛行訓練装置
2. 製造番号 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
3. 性能検査日 〇年〇月〇日
4. 機能検査日 〇年〇月〇日

年 月 日

運航安全課長 〇 〇 〇 〇

国土交通省

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置 認定の休止届
飛行訓練装置

国土交通大臣
○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、使用を休止しますので、模擬飛行装置等認定要領
(平成14年3月28日付 国空航第1285号 国空機第1308号 国空乗第91号)第8章 8-1の
規定に従い届け出ます。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	
休 止 理 由	
休 止 開 始 期 日	
休 止 予 定 期 間	

備 考

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置
飛行訓練装置 例外規定の届出

国土交通大臣
○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、模擬飛行装置等認定要領(平成14年3月28日
付国空航第1285号 国空機第1308号 国空乗第91号)第8章 8-2の規定に従い届け
出ます。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	
例 外 規 定 の 必 要 性	

備 考

第 ***-***-*** 号
年 月 日

模擬飛行装置 認定返納届
飛行訓練装置

国土交通大臣
○ ○ ○ ○ 殿

(住 所) ○ ○ ○ ○ ○ ○
(申請者名) ○ ○ ○ ○ ○ ○

下記の 模擬飛行装置
飛行訓練装置 について、認定を返納したいので関係書類を添えて届出
致します。

装 置 の 型 式	○○○式○○○型
所 有 者 名	(所 有 者 名) (住 所)
装 置 の 種 類 及 び 区 分	模擬飛行装置 レベル○ 飛行訓練装置
模 擬 対 象 と す る 航 空 機 の 型 式	○○○式○○○型
製 造 者 名	(製 造 者 名) (住 所)
製 造 年 月 日	○○○○ 年 ○○ 月 ○○ 日
製 造 番 号	○○○○
定 置 場	(住 所)
維 持 管 理 責 任 者	

備 考